

パートナーとのお金事情に関する調査を実施 30～40代の結婚3年以上夫婦に聞いた！家計管理事情のリアル

家計管理のために結婚前にやっておいて良かったこと第1位「夫婦で家計を管理するための口座の開設（12.8%）」

ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：南 啓二／本社：東京都千代田区／以下 ソニー銀行）は、結婚から3年以上経過している全国の30～40代の既婚者（男女）を対象に「パートナーとのお金事情に関する調査」を実施しました。

夫婦生活においてストレスを感じることで第1位は、家事や育児を抑えて「お金・家計（57.2%）」という結果に。半数以上のかたがお金・家計にストレスを感じていることがわかりました。さらに、お金・家計のストレスがないかたのうち約9割が、夫婦仲が良好であると回答し、お金・家計管理の成功と夫婦円満は密接に関係していることがうかがえる結果となりました。

【調査概要】

調査主体	: ソニー銀行
対象	: 結婚から3年以上経過している全国の30～40代の既婚者（男女）
集計期間	: 2023年2月3日～2023年2月6日
実施方法	: WEB アンケート

【調査結果サマリー】

TOPICS① 夫婦生活でストレスを感じるのは、家事・育児よりも「家計管理」！

- 半数以上（57.2%）がお金・家計にストレスを感じている
- お金・家計にストレスを感じていないかたは、感じているかたに比べて夫婦仲が良いと回答した割合が30%ほど高い

TOPICS② 家計管理におけるストレスや揉め事の原因あるある

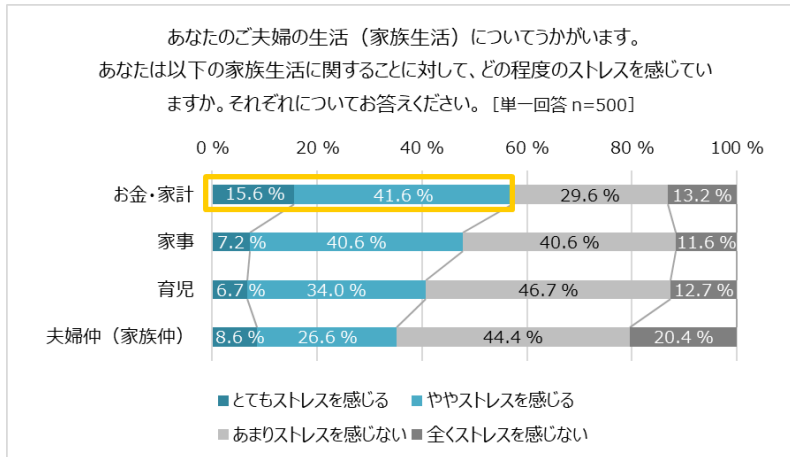
- 揉め事の原因は、「必要な貯蓄ができていない」「収入に対して支出が多すぎる」が上位に
- 夫婦間の話し合いや家計の見える化が揉め事解消の鍵！

TOPICS③ 夫婦円満のために今すぐにやるべきこと

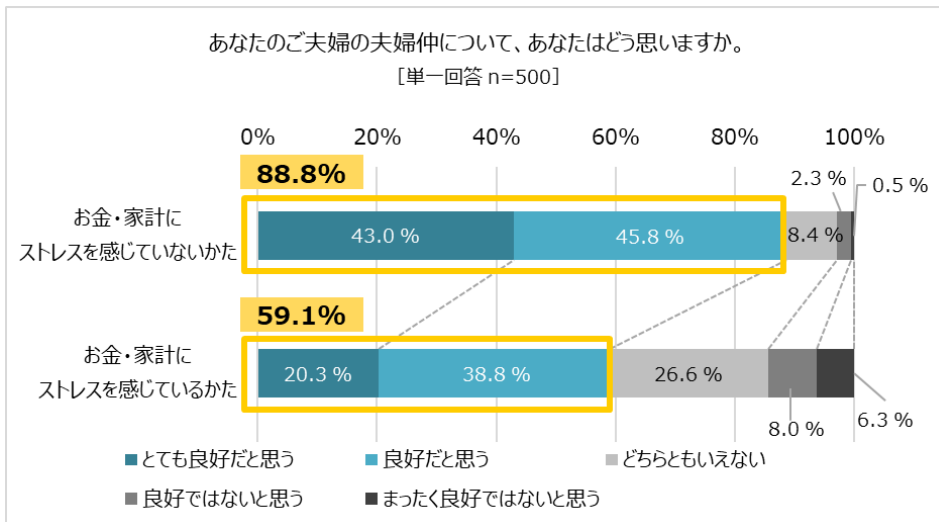
- 家計管理のために結婚前にやっておいて良かったこと第1位「夫婦で家計を管理するための口座の開設（12.8%）」

TOPICS① 夫婦生活でストレスを感じるのは、家事・育児よりも「家計管理」！

家族生活においてストレスを感じることに第1位は「お金・家計 (57.2%)」で、半数以上のかたがストレスを感じていることがわかりました。第2位は「家事 (47.8%)」、第3位は「育児 (40.7%)」、第4位は「夫婦仲 (家族仲) (35.2%)」という結果に。

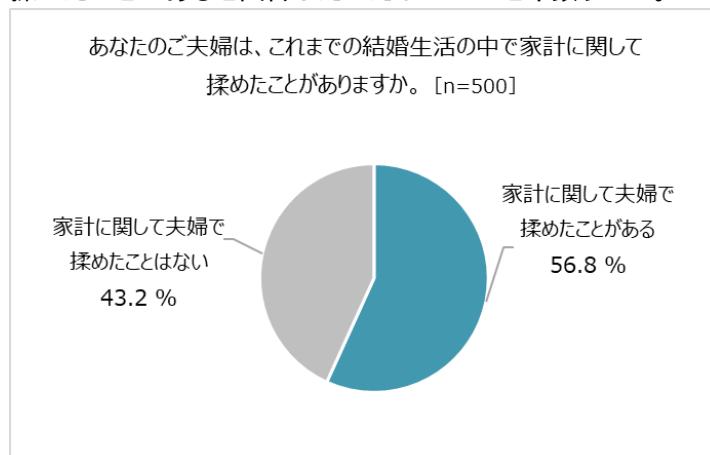


夫婦仲についてうかがったところ、お金・家計にストレスを感じていないかたのうち、「夫婦仲が良好だと思う」と回答したかたは88.8%と約9割にもおよびます。さらに、お金・家計にストレスを感じていないかたは、感じているかたと比較して夫婦仲が良いと回答した割合が30%ほど高い結果になりました。これらの結果から、お金・家計のストレスの有無は夫婦仲に影響を与えるといえます。



**TOPICS② 家計管理におけるストレスや揉め事の原因あるある
夫婦間の話し合いや家計の見える化が揉め事解消の鍵！**

夫婦間において家計に関して揉めたことがあると回答したかたは56.8%と半数以上に。



また、家計について夫婦間で揉めたことがあるかたに具体的エピソードを聞いたところ、次のような「話し合いができていない」、「どちらかに管理を任せっきり」、「将来への不安」といったリアルな声が多くあがってきました。

話し合いができていない

30代 男性	細かい話し合いを配偶者が嫌がる。
30代 女性	支出を抑えるための節約などについて管理している方は家計を気にするが、管理していない方はあまり考えないことによる揉め事が起きる。
40代 女性	仕事が忙しく、家計管理について話し合えない

夫婦どちらかに管理を任せっきり

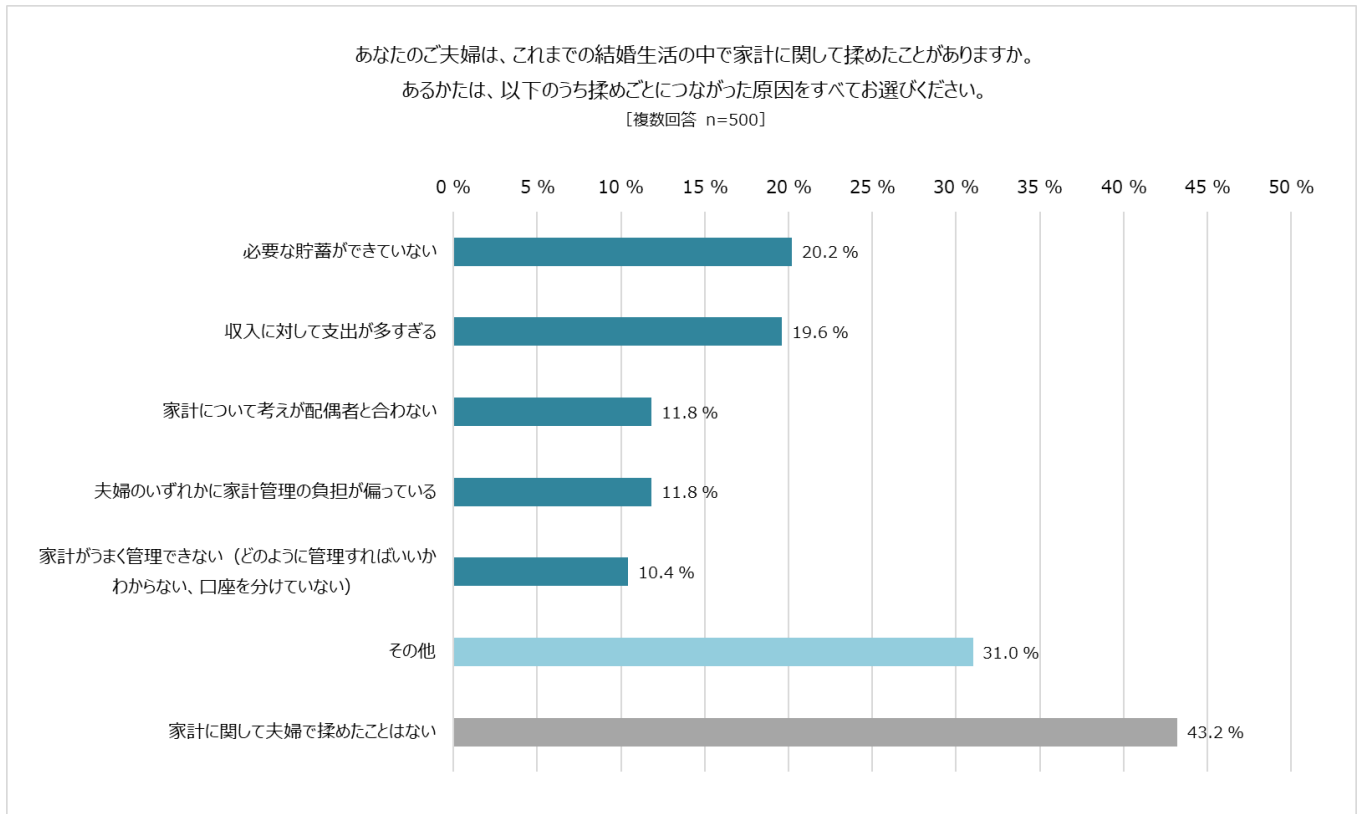
30代 男性	家計を妻に任せっきりで、状況の把握ができていない。
40代 男性	こちら(夫)の収入で家計の大部分を負担し、妻の収入で出費を抑えて貯蓄をするようにしていた。貯蓄に関しては妻に任せていたが、いざ急な出費が発生した際にほぼ貯蓄が出来てなかったことが発覚し、揉め事が起きた。

将来への不安

40代 男性	子どもの将来における貯蓄が十分にできていないことが原因で揉めたことがある。
40代 女性	特にお金のことに関してのルールを決めずなんとなく過ごしているため、将来への不安がストレスに。

一方、貯蓄ができているかどうかの基準で見ると、貯蓄ができていないかたで揉めたことがあると回答したかたは70.9%にもおよび、貯蓄ができているかたと比べて20%以上もの差があります。

揉め事の原因は、「必要な貯蓄ができていない(20.2%)」、「収入に対して支出が多すぎる(19.6%)」が上位となりました。その他、「夫婦のいずれかに家計管理の負担が偏っている」「家計について考え方が配偶者と合わない」なども比較的高い割合を占めています。



一方、結婚前・現在において夫婦間で家計について話し合っていた(いる)かどうかを基準に、夫婦間の揉め事に関する設問の結果を見ると、夫婦間で家計について話し合っていた(いる)かたほど、家計について揉めたことがないと回答していることが明らかになりました。

これらの結果から、結婚前と結婚後ともに夫婦2人でしっかりと話し合い、実態をお互い把握することが重要であることがわかります。そうすることで貯蓄に繋がり、揉め事やストレスの軽減が期待できます。

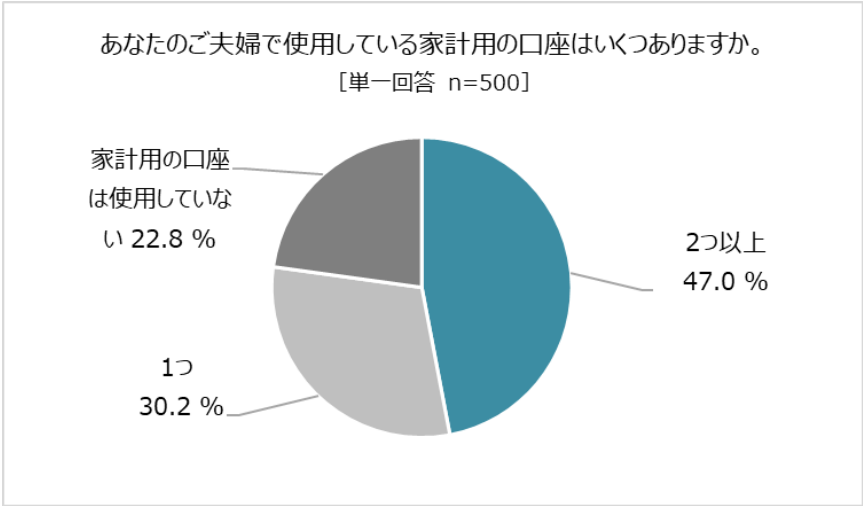
TOPICS③ 家計管理成功・夫婦円満のために今すぐにやるべきこと

家計管理に関して結婚前にやっておいて良かったことを聞いたところ、第1位「夫婦で家計を管理するための口座の開設 (12.8%)」、第2位「家計に関する夫婦間のルール作り (12.6%)」という結果に。

また、貯蓄がうまくできていると考えているかたに、円満に家計管理できているコツを聞いたところ、次のような声があがってきました。

30代 男性	お互いによく話し合っ、1ヶ月の生活費の中からどれくらい使うかを決めているから。
30代 女性	日頃から、収支や貯蓄額を大まかに夫に伝えているので、お金の使い方に危機感を持ってもらうことができていると思う。 出費が多い月は、子供も含めて家族でどんな節約ができるかなどの会話をする。 家族みんなで現状を共有するのが良いと思う。

夫婦で使用している家計用口座を持っているというかたは 77.2% (1つ+2つ以上)。うち2つ以上と回答したかたが 47.0%と約半数という結果に。



今回の調査結果から、家計管理の成功と夫婦円満のためには、家計用管理口座を開設し、夫婦間の家計ルールをつくるのが重要であると言えます。さらに、口座の使い方としてはその口座にお金を夫婦それぞれ入れていくだけでなく、生活費や食費など項目ごとに負担を分けるのがおすすめです。

また、家計用口座開設にはネット銀行の利用もひとつの手段です。ネットで簡単に収入管理ができるうえに、銀行によっては各種優遇やATM手数料無料などのお得なサービスもあるのもポイントです。

長い付き合いになる夫婦生活、夫婦円満のために今から話し合ってみてはいかがでしょうか。